



C コマンド

この章では、C で始まる Cisco NX-OS セキュリティ コマンドについて説明します。

checkpoint

現在の実行コンフィギュレーションのスナップショットを作成し、ASCII 形式のファイル システムにスナップショットを保存するには、**checkpoint** コマンドを使用します。

```
checkpoint [checkpoint-name [description descp-text [...description descp-text]] |
description descp-text | file {bootflash: | volatile:}[/server][/directory/][/filename]]
```

```
no checkpoint [checkpoint-name | description descp-text | file {bootflash: |
volatile:}[/server][/directory/][/filename]]
```

構文の説明

<i>checkpoint-name</i>	(任意) チェックポイント名。名前、最大 32 文字まで指定できます。
description <i>descp-text</i>	(任意) 指定されたチェックポイントの説明を指定します。テキストは最大 80 文字で、スペースを含めることができます。
file	(任意) コンフィギュレーション ロールバック チェックポイントを保存するファイルが作成されるように指定します。
bootflash:	書き込み可能なブートフラッシュ ローカル ストレージ ファイル システムを指定します。
volatile:	揮発性の書き込み可能なローカル ストレージ ファイル システムを指定します。
<i>//server</i>	(任意) サーバの名前。有効な値は、///、// module-1 /、// sup-1 /、// sup-active / または // sup-local / です。2 個のスラッシュ (/) を含む必要があります。
<i>/directory/</i>	(任意) ディレクトリの名前。ディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。
<i>/filename</i>	(任意) チェックポイント コンフィギュレーション ファイルの名前。ファイル名では、大文字と小文字が区別されます。



(注)

filesystem://server/directory/filename スtringにはスペースを含めることはできません。この文字列の各要素は、コロン (:) とスラッシュ (/) で区切ります。

コマンド デフォルト

自動的にチェックポイント名 (*user-checkpoint-number*) を生成します。

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

チェックポイントはスイッチに対してローカルです。チェックポイントを作成すると、現在の実行コンフィギュレーションのスナップショットがチェックポイント ファイルに保存されます。チェックポイント名を指定しなかった場合、Cisco NX-OS はチェックポイント名を **user-checkpoint-number** に設定します。ここで *number* は 1 ~ 10 の値です。

Fibre Channel over Ethernet (FCoE) がスイッチでイネーブルになっている場合、アクティブ コンフィギュレーションをチェックポイント状態に復元できません。FCoE がイネーブルのスイッチでチェックポイントを作成すると、次のエラー メッセージが表示されます。

```
switch# checkpoint chkpoint-1
ERROR: ascii-cfg: FCOE is enabled. Disbaling rollback module (err_id 0x405F004C)
switch#
```

FCoE がディセーブルのスイッチでチェックポイントを作成すると、次のメッセージが表示されます。

```
switch# checkpoint chkpoint-1
...Done
switch#
```

1 つのスイッチで作成できるコンフィギュレーションの最大チェックポイント数は 10 です。チェックポイント数が上限に達すると、最も古いエントリが削除されます。

あるスイッチのチェックポイント ファイルを別のスイッチに適用することはできません。チェックポイントのファイル名の先頭を *system* にすることはできません。

チェックポイント ファイルは、直接アクセスまたは変更できないテキスト ファイルとして保存されます。チェックポイントがシステムから消去されると、関連するチェックポイント コンフィギュレーション ファイルが削除されます。

例

次に、チェックポイントを作成する例を示します。

```
switch# checkpoint
...
user-checkpoint-4 created Successfully

Done
switch#
```

次に **chkpnt-1** という名前のチェックポイントを作成する例を示します。目的を定義します。

```
switch# checkpoint chkpnt-1 description Checkpoint to save current configuration, Sep 9 10:02 A.M.
switch#
```

次に、ブートフラッシュ ストレージ システムに **chkpnt_configSep9-1.txt** という名前のチェックポイント コンフィギュレーション ファイルを作成する例を示します。

```
switch# checkpoint file bootflash:///chkpnt_configSep9-1.txt
switch#
```

次に **chkpnt-1** という名前のチェックポイントを削除する例を示します。

```
switch# no checkpoint chkpnt-1
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear checkpoint	スイッチ上でチェックポイントをクリアします。
rollback	保存されたすべてのチェックポイントにスイッチをロールバックします。

コマンド	説明
show checkpoint all	スイッチに設定されているすべてのチェックポイントを表示します。
show checkpoint summary	スイッチに設定されているすべてのチェックポイントの要約を表示します。
show checkpoint summary user	ユーザによって作成されたすべてのチェックポイントを表示します。
show checkpoint system	システムで自動的に作成されたすべてのチェックポイントを表示します。

clear access-list counters

すべてまたは 1 つの IPv4 アクセス コントロール リスト (ACL) のカウンタをクリアするには、**clear access-list counters** コマンドを使用します。

clear access-list counters [*access-list-name*]

構文の説明	<i>access-list-name</i>	(任意) スイッチがそのカウンタをクリアする IPv4 ACL の名前です。この名前には最大 64 文字までの英数字を指定できます。
--------------	-------------------------	--

コマンド デフォルト	なし
-------------------	----

コマンド モード	EXEC モード
-----------------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例 次に、すべての IPv4 ACL のカウンタをクリアする例を示します。

```
switch# clear access-list counters
```

次に、acl-ipv4-01 という名前の IPv4 ACL のカウンタをクリアする例を示します。

```
switch# clear access-list counters acl-ipv4-01
```

関連コマンド	コマンド	説明
	access-class	IPv4 ACL を VTY 回線に適用します。
	ip access-group	IPv4 ACL をインターフェイスに適用します。
	ip access-list	IPv4 ACL を設定します。
	show access-lists	1 つまたはすべての IPv4 ACL、IPv6 ACL、および MAC ACL に関する情報を表示します。
	show ip access-lists	1 つまたはすべての IPv4 ACL に関する情報を表示します。

clear accounting log

アカウントティング ログをクリアするには、**clear accounting log** コマンドを使用します。

clear accounting log

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、アカウントティング ログをクリアする例を示します。

```
switch# clear accounting log
```

関連コマンド

コマンド	説明
show accounting log	アカウントティング ログを表示します。

clear checkpoint database

スイッチで設定されたチェックポイントをクリアするには、**clear checkpoint database** コマンドを使用します。

clear checkpoint database [system | user]

構文の説明

system	システム チェックポイントのコンフィギュレーション ロールバック チェックポイント データベースをクリアします。
user	ユーザ チェックポイントのコンフィギュレーション ロールバック チェック ポイント データベースをクリアします。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、設定済みチェックポイントをクリアする例を示します。

```
switch# clear checkpoint database
.Done
switch#
```

関連コマンド

コマンド	変更内容
checkpoint	チェックポイントを作成します。
show checkpoint	すべての設定済みチェックポイントを表示します。

clear ip arp

Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) テーブルおよび統計情報をクリアするには、**clear ip arp** コマンドを使用します。

```
clear ip arp [vlan vlan-id [force-delete | vrf {vrf-name | all | default | management}]]
```

構文の説明

vlan <i>vlan-id</i>	(任意) 指定した VLAN の ARP 情報をクリアします。内部使用に予約されている VLAN を除き、有効な範囲は 1 ~ 4094 秒です。
force-delete	(任意) 更新せずに ARP テーブルからエントリをクリアします。
vrf	(任意) ARP テーブルからクリアする Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティングおよび転送) を指定します。
<i>vrf-name</i>	VRF 名。名前は最大 32 文字の英数字で、大文字と小文字が区別されます。
all	ARP テーブルからすべての VRF エントリがクリアされるよう指定します。
default	ARP テーブルからデフォルトの VRF エントリがクリアされるよう指定します。
management	ARP テーブルから管理 VRF エントリがクリアされるよう指定します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ARP テーブル統計情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear ip arp
switch#
```

次に、VRF *vlan-vrf* を持つ VLAN 10 の ARP テーブル統計情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear ip arp vlan 10 vrf vlan-vrf
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip arp	ARP 設定ステータスを表示します。

clear ip arp inspection log

Dynamic ARP Inspection (DAI; ダイナミック ARP インスペクション) ログバッファをクリアするには、**clear ip arp inspection log** コマンドを使用します。

clear ip arp inspection log

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、DAI ロギング バッファをクリアする例を示します。

```
switch# clear ip arp inspection log
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip arp inspection log-buffer entries	DAI のログ バッファ サイズを設定します。
show ip arp inspection	DAI 設定ステータスを表示します。
show ip arp inspection log	DAI のログ設定を表示します。
show ip arp inspection statistics	DAI 統計情報を表示します。

clear ip arp inspection statistics vlan

指定の VLAN のダイナミック ARP インスペクション (DAI) 統計情報をクリアするには、**clear ip arp inspection statistics vlan** コマンドを使用します。

clear ip arp inspection statistics vlan *vlan-list*

構文の説明

vlan <i>vlan-list</i>	このコマンドによってその DAI 統計情報がクリアされる VLAN を指定します。 <i>vlan-list</i> 引数は 1 つの VLAN ID、VLAN ID の範囲、カンマ区切りの ID と範囲を指定できます。有効な VLAN ID は 1 ~ 4094 です。内部スイッチ用に予約されている VLAN は除きます。
------------------------------	---

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、VLAN 2 の DAI 統計情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear ip arp inspection statistics vlan 2
switch#
```

次に、VLAN 5 ~ 12 の DAI 統計情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear ip arp inspection statistics vlan 5-12
switch#
```

次に、VLAN 2 および VLAN 5 ~ 12 の DAI 統計情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear ip arp inspection statistics vlan 2,5-12
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip arp inspection log	DAI ログバッファをクリアします。
ip arp inspection log-buffer	DAI のログ バッファ サイズを設定します。
show ip arp inspection	DAI 設定ステータスを表示します。
show ip arp inspection vlan	VLAN の指定されたリストの DAI ステータスを表示します。

clear ip dhcp snooping binding

ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP) スヌーピング バインディング データベースをクリアするには、**clear ip dhcp snooping binding** コマンドを使用します。

```
clear ip dhcp snooping binding [vlan vlan-id [mac mac-address ip ip-address] [interface
{ethernet slot/port | port-channel channel-number}]]
```

構文の説明

vlan <i>vlan-id</i>	(任意) クリアする DHCP スヌーピング バインディング データベース エントリの VLAN ID を指定します。有効な VLAN ID は 1 ~ 4094 です。内部スイッチ用に予約されている VLAN は除きます。
mac-address <i>mac-address</i>	(任意) クリアするバインディング データベース エントリの MAC アドレスを指定します。ドット付き 16 進表記で <i>mac-address</i> 引数を入力します。
ip <i>ip-address</i>	(任意) クリアするバインディング データベース エントリの IPv4 アドレスを指定します。ドット付き 10 進表記で <i>ip-address</i> 引数を入力します。
interface	(任意) Ethernet または EtherChannel インターフェイスを指定します。
ethernet <i>slot/port</i>	(任意) クリアするバインディング データベース エントリのイーサネット インターフェイスを指定します。
port-channel <i>channel-number</i>	(任意) クリアするバインディング データベース エントリのイーサネット ポート チャネルを指定します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、DHCP スヌーピング バインディング データベースをクリアする例を示します。

```
switch# clear ip dhcp snooping binding
switch#
```

次に、DHCP スヌーピング バインディング データベースの特定のエントリをクリアする例を示します。

```
switch# clear ip dhcp snooping binding vlan 23 mac 0060.3aeb.54f0 ip 10.34.54.9 interface
ethernet 2/11
switch#
```

■ clear ip dhcp snooping binding

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show ip dhcp snooping binding	スタティック IP ソース エントリを含めて、IP-MAC アドレス バインディングを表示します。
show running-config dhcp	IP ソース ガード設定を含む、DHCP スヌーピング設定を表示します。

clear ip dhcp snooping statistics

ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP) スヌーピング統計情報をクリアするには、**clear ip dhcp snooping statistics** コマンドを使用します。

clear ip dhcp snooping statistics

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、DHCP 統計情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear ip dhcp snooping statistics
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show ip dhcp snooping statistics	DHCP スヌーピング統計情報を表示します。
show running-config dhcp	IP ソース ガード設定を含む、DHCP スヌーピング設定を表示します。

■ clear ip dhcp snooping statistics